

2018年度  
佐渡市地域防災リーダー  
スキルアップ研修



日本防災士会  
新潟県支部

# 2018年度 [ 佐渡市地域防災リーダースキルアップ研修 ] 日程表

## 目的

- 「自主防災組織」の強化を図り、佐渡全島で「地区防災計画」を策定することを目的とする

## 対象者

- 地域防災リーダー 約50名
- 一般の方 約50名

## 日時・会場

- 日時:12月15日(土)
- 会場:真野ふるさと会館  
(佐渡市吉岡1697-1)

## 内容・プログラム

- 先進事例紹介  
講師:新穂地域づくり協議会
- 「地区防災計画」作成ポイント  
講師:日本防災士会新潟県支部
- グループ討議

時刻 (時間)	13時~16時 (概ね3時間)
13:00 ~ 13:05	開会挨拶・趣旨説明 (佐渡市)
13:05 ~ 13:20	【ビデオ上映】(15分) 「みんなでつくろう地区防災計画」
13:20 ~ 14:20	【先進事例紹介】(30分) 「新穂地区の防災計画」 講師:新穂地域づくり協議会 副会長 小濱安夫氏 【説明】(20分) 「地区防災計画作成のポイント」 講師:日本防災士会新潟県支部
(10分)	休憩
14:30 ~ 16:00	【グループ討議】(ワークショップ90分) 「わが町の防災計画を考えよう」
16:00	閉会挨拶

# 表彰おめでとうございます！

佐渡地区郵便局長会様が、日本防災士機構より、平成29年度の「**防災士功労賞**」を受賞されました。

## 防災士表彰の目的

防災士としての活動及び社会貢献活動に関して、顕著にして他の模範となる大きな功労があった防災士個人、または防災士のグループ・団体について、これを称え顕彰することにより、防災士全体の志気を高め、活動意欲の増進を期待すると共に、防災士制度のさらなる進展に寄与することを目的として平成28年に制定。

## 他の受賞者

有賀元栄(長野県)様  
石川県3地区郵便局長会様  
香川県防災士会様  
熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」様  
東日本旅客鉄道労働組合(東京都)様  
横山恭子(兵庫県)様



# 「みんなで作ろう地区防災計画」

■ 日本防災士会作成 ビデオ放映(15分)

- ビデオの視聴を通じて、「地区防災計画」について学び、理解を深めよう。

# 先進事例紹介

講師：新穂地域づくり協議会

副会長 小濱安夫 氏

- 新穂地区での取り組み紹介

# 地区防災計画作成のポイント

講師：日本防災士会新潟県支部 相田 幸一

## ●作成過程が大事！

- ・作成過程で地域コミュニティが醸成する

## ●地域のリスクを知ろう！

- ・常日ごろ一人ひとりが災害を意識（イメージ）すること

## ●計画作成は簡素に！

- ・A4ペーパー1枚でも立派な「地区防災計画」

## ●PDCAをまわそう！

- ・計画～実践～確認・見直し～より良い計画～より良い実践へ...

## ●役所に提出しよう！

- ・「地区防災計画」は「自主防災組織」の災害対応マニュアル

# 阪神淡路大震災での教訓

阪神淡路大震災では、倒壊家屋の下から救出された全体の**77.1%**の方々は、地域の近隣住民の方々により助けられました。

## 生き埋めや閉じ込められた際の救助

(資料)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」  
(平成8年11月日本火災学会)より作成

自力で	家族に	友人に・ 隣人に	通行人に	救助隊に	その他
34.9%	31.9%	28.1%	2.6%	1.7%	0.9%

自助・共助 97.5%

公助 2.5%

自助・共助の重要性

# 「想定外」の災害はあたりまえ

災害想定(予測)は、想定(予測)でしかなく、  
実際の災害は「**想定外**」であたりまえ

地球の歴史を1年とすると、  
人類の歴史はたったの2.8秒  
地震学の歴史はたかだか138年

想定外の災害が起きてあたりまえ

自分(個々人)の経験から災害(避難)を  
具体的にイメージすることが大事

このための防災訓練・計画づくりであることが重要



# グループ討議

## ■司会進行

日本防災士会新潟県支部

土橋 佳代

## ■テーブルコーディネーター

佐渡市防災士の皆さま

# グループ討議（第1段階）

## 1. 災害発生時の避難方法について

- まず、**災害想定**と**状況想定**をする

**震度6**の地震発生→**津波**、**土砂崩れ**の危険性

季節は**春**、時間帯は**休日の昼間**、**家族全員が家にいる**

- **避難場所**と**避難所**の位置を確認
- そこは**安全**な場所か？安全にたどりつけるか？  
（お年寄りや障がい者にとっても）
- **危険**な場所は？交通が寸断しそうな所は？

# 「逃げ地図」をつくろう

「逃げ地図」とは...

- 目標とする避難場所までの時間を色鉛筆で塗り分ける手づくりの地図。
- 自分たちで安心を獲得するアイデアを共有し、  
日常の安全を高める意識につながります。

# ～逃げ地図づくりで学べること～

- ①まちの災害時に危険な場所を知ること
- ②自分で避難できるようになること
- ③防災対策ができるようになること



# 逃げ地図は 「安全のための話をする道具」

## 1. 話す

「学校は津波が来たら危なそう…」

## ワークショップの心得

- ★全員参加（独演会にならないよう）
- ★人の意見を否定しない
- ★自由に発言しつつも、より良い方向を目指しましょう！

やってみよう

自分の地域で起こりそうな<sup>さいがい</sup>災害を考え、1つえらぼう。

※現実は何が起きるかはわかりませんが、考えるためにえらびます。



## ①津波災害

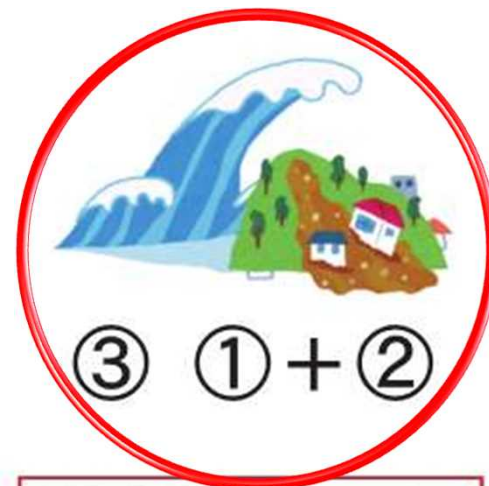
大地震で起こる津波の場合を考えます。高い場所に何分で行くことができるかを考えます。



## ②土砂災害

大雨や地震で起こる土砂災害の場合を考えます。危険を感じて避難場所に行くまでの時間を考えます。

※土砂災害は、土石流、地すべり、がけ崩れ（急傾斜地崩壊）のことを指します。詳しくはP.21!



## ③ ① + ②

大雨で地ばんがゆるんでいるところに大地震で津波が来る場合を考えます。

今回は  
これ

やってみよう

- ①防災マップ（ハザードマップ）などをみて、マジックで危険なはん囲をかこもう。

※かこみ方

## 作業方法1

津波浸水域を水色で囲む

土砂崩れ危険域を茶色で囲む

※津波を  
この線ま

急傾斜地崩壊危険区



急傾斜地崩壊危険箇所



テーマに

、まちによっ  
ここでは、

か考え

持ちよう

## やってみよう

避難場所を決めるその前に…いきなりクイズ!

・「避難場所」と「避難所」の違いを考えよう。

同じように見えるね…。答えはページ左下に!



## 作業方法2

避難場所に●シールをはる

う場所

場所に

答え：避難場所とは緊急避難場所のことで、災害の時に身の安全のために避難する場所。避難所とは災害で住む場所を失った人の一時的な生活場所になりうる場所。

## 話すポイント!

- 津波や土砂災害のおそれがないか
- 学校が危険なはん囲にある場合は避難場所としてどうか



やってみよう



- ① 危険そうな●避難場所に×を書き、理由も書こう。
- ② 危険そうな場所に×を書き、道が通れなくなりそうな

### 作業方法3

危険な場所に赤×印を書く  
 なぜ危険か理由をフセンに  
 書いてはる



津波で学校がのまれてしまいそう。

橋が地震でこわれそう。

家のへいがこわれそう。

ころ

以外にもど

やってみよう

① 道に色をぬり、避難場所までの時間がわかるようにしよう。

## 作業方法4

集落の中心部から避難場所  
までの安全な道に緑色をぬる

このオレンジ色の場  
9-12分で避難場所に行  
くということか！



※この速さは、お平均りが傾斜度10度の坂道を歩くときの速さを考えたとき  
のもので、速さが【43m/分】と、とても遅いようにみえますが、誰もが  
逃げることができる速さです。

# グループ討議(第2段階)

## 2.災害発生時の

- 自分 作業方法
  - 助け フセンに、現状や課題、今後
  - 組織 について書く
- ※公助 ※1フセンに書くのは1項目

こと

# グループ討議（第3段階）

## 3.必要なソフト及びハード対策について

- 平常時も機能する活動や整備を考える

例え

防炎作業方法

高

2.の結果とともに、シートに  
まとめる

ド

やってみよう



- ① 逃げ地図を作りはじめてから作った後で気づいたこと、気になったことを発表しよう。

#### ■発表のやり方

表をする。  
比べてみる。  
)

意見をまとめよう。

話し合った内容を全員で  
**共有**しましょう

自分たちの地図に比  
コメントがたくさん

橋を新しく直したら  
いいかもね。

色の違いなどに注目し  
よつ。比べながら、より安全な避難かできるようにしよう。

自分自身が防災リーダーになろう

やってみよう



ま

これまで逃げ場  
まちの役所の人  
みんなが作った  
しょう。

話し合った内容を春❀に  
なったら現地確認しましょう

(試してみる)

できた地図も成果ですが、重要なのは、不安や疑問についてさらに考える、話し合うことです。

不安な点や疑問点はそのままにしないで

話し合いを続けてください。これからが本当のはじまりです。